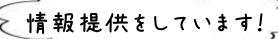


# fucco(ふっこ)からの風

2019\*02\*22 第59号

★情報提供をしています! ★はおおのおこわ作り教室 ★3月カレンダー ★お知らせ

NPO 法人 やまがた絆の架け橋ネットワーク





雪が多くてなんとなく「冬モード」から切り替えできないけれど… 春はもうすぐそこまで来ています。 「福島に帰還します」

「悩んだけれど、山形での生活を続けることにしました」 「仕事を始めようかな〜」

選択はひとりひとり違うけれど、みんなの「春」を応援します!

【帰還する方へ】

## 山形で開催する交流鼻業の情報を提供します!

当団体では、来年度も帰還した方も参加できるさくらんば狩り、 芋煮会、雪遊びなどのイベント開催を予定しております。

「帰還してからも情報が欲しい!」

「日程が合えば参加を考えたい!」

という方は、ご連絡ください。随時情報をお送りします!

〈受付〉 ☎0237-85-1080 ⊠ fucco@kakehasi.jpn.org

〈必要事項〉 代表者氏名·帰還先住所·電話番号



## ばまばのおこわ作り教室のご案内

12 月に開催した「お菓子作り」の中で、

「おこわ、教えてほしい~!!」との声があがったことがきっかけで企画しました。

おこわって、おいしいし自分も子どもも大好きだけど、、、

作るには難しいし、買うと高いし…。そもそも、教えてくれる人いないし…という声がちらほら。 ちょっと、みんなで作ってみましょうよー♪

日 時 平成 31年3月7日(木)10:00~13:00

場 所 飯塚コミュニティセンター ※前回の予告から会場が変更になっています!

内容雑穀おこわをつくります。

12 時頃~会食(おこわ、スープ、漬物などを予定)

定 員 8名程度

参加費 500円

持ち物 エプロン

申込み 参加する方のお名前・連絡先を fucco まで

**2**023-674-6013

【締切】2月27日(水)まで





月	火	水	木	金	土	
				1	2	3
				※PM Close (会議参加のため)		
4	5	6	7	8	9	10
<b>♪ポ</b> ルドブラ 10:00~11:30			♪ ばぁばのおこわ 10:00~13:00 (飯塚コミセン)			
11	12	13	14	15	16	17
		<b>♪</b> おしゃべりサロン 11:45~17:45				
18	19	20	21	22	23	24
					<b>♪</b> がんばれもちつき 11:00~13:30	
25	26	27	28	29	30	31

#### ★春の恒例★

#### がんばれ!もちつき

「がんばるぞー!」の春にエールとなるような餅つきを

臼と杵を使っての本格餅つきは美味しいこと間違いなし。

パパの参加も大歓迎です(\*^3^\*)

子どもたちも一緒に餅をつきます。

つきたて餅の味は最高♪

時 平成 31年3月 23 日(土)  $\Box$ 11:00 開始 13:30 解散

場所 福島こころの公民館 fucco

参加費 無料

持ち物 空腹の胃袋!

申し込み ☎023-674-6013

™ fucco@kakehasi.jpn.org まで!



年が明けたと思ったら、あっという間に2月もおしまい。この時期は 一段と早く感じますね。そもそも雪が少ない今シーズンは、雪解けを 感じることなく春が駆け足でやってくるような気分。どうしても無理し がちなこの時期こそ、自分のことをちょっと立ち止まって意識したいで すね。

「まだまだきれいに晴れることも少ないから、どうしても気分も滅 入っていしまうよね…」と話してくださった方がいらっしゃいました。 この時期だからこそ、ちょっとお花を飾ってみませんか?何かの力を 借りて、気分をちょっとだけ上向きにしてみましょう♪

### 東日本大震災追悼·復興祈念事業 キャンドルナイト

「追悼・復興への祈り」集い

平成31年3月11日(月)に文翔館で開催さ れるキャンドルナイトの中で、パステルアー トの展示が行われます。当日はパステル体 験コーナーも開設予定。年齢を問わず、ど なたでも体験できます。

文翔館前に灯るキャンドルを眺めなが ら、3. 11の日暮れを過ごしませんか?



#### 福島こころの公民館 fucco (ふっこ)

〒990-0022 山形市東山形 2 丁目 1-19

TEL: 023-674-6013

WEB: http://kakehasi.jpn.org/kouminkan/

MAIL: fucco@kakehasi.jpn.org 開設時間:平日9:30~16:30



JAPAN この事業は認定 NPO 法人ジャパンプラットホーム 共に生きるファンド の助成を受けて運営しています。 この事業は福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金で運営しています。

